

必修科目 内科臨床研修プログラム

臨床研修1年次に行う必修科目としての内科研修プログラムである。ここでの内科研修は、臓器別の専門内科ではなく、プライマリ・ケアの基本である「一般・総合内科」の研修を目的としている。すなわち、大学病院内科共通の研修プログラムとなっている。

1. 研修施設

獨協医科大学病院

2. 研修期間

1年次の6か月間

3. 指導責任者

井上 晃 男 教授 平石 秀 幸 教授 三谷 絹 子 教授
石光 俊彦 教授 平田 幸一 教授 麻生 好正 教授
石井 芳樹 教授

4. 研修内容

- 1) 外 来 指導医の指導下で外来診療を行い、初歩的診断法・治療法を研修する。
- 2) 病 棟 指導医の監督下で、入院患者の担当医としての自覚を持って研修に当たる。また、指導医の指示により、適時当直を行い、緊急時、急変時の対応も経験する。
- 3) カンファレンス等 各種カンファレンス、抄読会、回診等に参加する。

5. 研修目標

患者 — 医師 関係	一 般 目 標 (G I O)
	患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立する
	到 達 目 標 (S B O)
	患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる 医師、患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームドコンセントが実施できる 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる 医療面接におけるコミュニケーションのもつ意義を理解し、コミュニケーションスキルを身につけ、患者の解釈モデル、受診動機、受療行動を把握できる 患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活・職業歴、系統的レビュー）の聴取と記録ができる

チーム医療	一般目標 (GIO)
	医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる他のメンバーとの協調を修得する
	到達目標 (SBO)
	指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる 上級および同僚医師、他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる 患者の転入、転出にあたり情報を交換できる 関係機関や諸団体の担当者とコミュニケーションがとれる

診療計画	一般目標 (GIO)
	保健・医療・福祉の各側面に配慮しつつ、診療計画を作成し評価する
	到達目標 (SBO)
	診療計画（診断、治療、患者・家族への説明を含む）を作成できる QOL (Quality of Life) を考慮にいれた総合的な管理計画（リハビリテーション、社会復帰、在宅医療、介護を含む）へ参画する CPC（臨床病理カンファレンス）レポートを作成し、症例呈示できる

問題対応能力	一般目標 (GIO)
	患者の問題を把握し、問題対応型の思考を行い、生涯にわたる自己学習の習慣を身につける
	到達目標 (SBO)
	臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を判断できる（EBM=Evidence Based Medicine の実践ができる） 自己評価および第三者による評価をふまえた問題対応能力の改善ができる 臨床研究や治験の意義を理解し、研究や学会活動に関心を持つ 自己管理能力を身につけ、生涯にわたり基本的診療能力の向上に努める

安全管理	一般目標 (GIO)
	患者ならびに医療従事者にとって安全な医療を遂行し、安全管理の方策を身につけ、危機管理に参画する
	到達目標 (SBO)
	医療を行う際の安全確認の考え方を理解し、実施できる 医療事故防止及び事故後の対処について、マニュアルなどに沿って行動できる 院内感染対策 (Standard Precautions を含む) を理解し、実施できる

症例提示	一般目標 (GIO)
	チーム医療の実践と自己の臨床能力向上に不可欠な、症例呈示と意見交換を行う
	到達目標 (SBO)
	症例呈示と討論ができる 臨床症例に関するカンファレンスや学術集会に参加する

医療の社会性	一般目標 (GIO)
	医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献する
	到達目標 (SBO)
	保健医療法規・制度を理解し、適切に行動できる 医療保険、公費負担医療を理解し、適切に診療できる 医の倫理、生命倫理について理解し、適切に行動できる 医薬品や医療用具による健康被害の発生防止について理解し、適切に行動できる

経験すべき診察法・検査・手技

医療面接	一般目標 (GIO)
	患者・家族との信頼関係を構築し、診断・治療に必要な情報が得られるような医療面接を理解する
	到達目標 (SBO)
	医療面接におけるコミュニケーションのもつ意義を理解し、コミュニケーションスキルを身につけ、患者の解釈モデル、受診動機、受療行動を把握できる 患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活・職業歴、系統的レビュー) の聴取と記録ができる 患者・家族への適切な指示、指導ができる

基本的な 身体診察法	一般目標 (GIO)
	病態の正確な把握ができるよう、身体診察を系統的に実施し、修得する
	到達目標 (SBO)
	全身の観察 (バイタルサインと精神状態の把握、皮膚や表在リンパ節の診察を含む) ができ、記載できる
	頭頸部の診察 (眼瞼・結膜、眼底、外耳道、鼻腔口腔、咽頭の観察、甲状腺の触診を含む) ができ、記載できる
	胸部の診察 (乳房の診察を含む) ができ、記載できる
腹部の診察 (直腸診を含む) ができ、記載できる	
神経学的診察ができ、記載できる	

基本的な 臨床検査	一般目標 (GIO)
	病態と臨床経過を把握し、医療面接と身体診察から得られた情報をもとに必要な検査を実施し、評価する
	到達目標 (SBO)
	<u>一般尿検査</u> (尿沈渣顕微鏡検査を含む)
	<u>便検査</u> (潜血、虫卵)
	<u>血算・白血球分画</u>
	(A) <u>血液型判定・交差適合試験</u>
	(A) <u>心電図</u> (12誘導)、 <u>負荷心電図</u>
	(A) <u>動脈血ガス分析</u>
	<u>血液生化学的検査・簡易検査</u> (血糖、電解質、尿素窒素など)
<u>血液免疫血清学的検査</u> (免疫細胞検査、アレルギー検査を含む)	
<u>細菌学的検査・薬剤感受性検査</u> ・検体の採取 (痰、尿、血液など)・簡単な細菌学的検査 (グラム染色など)	
<u>肺機能検査</u> ・ <u>スパイロメトリー</u>	
<u>髄液検査</u>	
細胞診・病理組織検査	
<u>内視鏡検査</u>	
(A) <u>超音波検査</u>	
<u>単純X線検査</u>	

基本的手技	一般目標 (GIO)
	基本的手技の適応を決定し、実施することを修得する
	到達目標 (SBO)
	<u>気道確保</u> を実施できる
	<u>人工呼吸</u> を実施できる (バッグマスクによる徒手換気を含む)
	<u>心マッサージ</u> を実施できる
	<u>圧迫止血法</u> を実施できる
	<u>包帯法</u> を実施できる
	<u>注射法</u> (皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保、中心静脈確保) を実施できる
	<u>採血法</u> (静脈血、動脈血) を実施できる
<u>穿刺法</u> (腰椎) を実施できる	
<u>穿刺法</u> (胸腔、腹腔) を実施できる	
<u>導尿法</u> を実施できる	
<u>ドレーン・チューブ類の管理</u> ができる	
<u>胃管の挿入と管理</u> ができる	
<u>局所麻酔法</u> を実施できる	
<u>創部消毒とガーゼ交換</u> を実施できる	
<u>簡単な切開・排膿</u> を実施できる	
<u>気管挿管</u> を実施できる	
<u>除細動</u> を実施できる	

基本的治療法	一般目標 (GIO)
	基本的治療法の適応を決定し、適切に実施することを修得する
	到達目標 (SBO)
	療養指導 (安静度、体位、食事、入浴、排泄、環境整備を含む) ができる
	薬物の作用、副作用、相互作用について理解し、薬物治療 (抗菌薬、副腎皮質ステロイド薬、解熱薬、麻薬、血液製剤を含む) ができる
基本的な輸液ができる	
輸血 (成分輸血を含む) による効果と副作用について理解し、輸血が実施できる	

医療記録	一般目標 (GIO)
	チーム医療や法規との関連で重要な医療記録を適切に作成し、管理する
	到達目標 (SBO)
	診療録 (退院時サマリーを含む) を POS (Problem Oriented System) に従って記載し管理できる
	処方箋、指示箋を作成し、管理できる
診断書、死亡診断書、死体検案書その他の証明書を作成し、管理できる	
CPC (臨床病理検討会) レポートを作成し、症例呈示できる	
紹介状と、紹介状への返信を作成でき、それを管理できる	

診療計画	一般目標 (GIO)
	保健・医療・福祉の各側面に配慮しつつ、診療計画を作成し、評価する
	到達目標 (SBO)
	診療計画 (診断、治療、患者・家族への説明を含む) を作成できる
	診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用できる
入退院の適応を判断できる (デイサージャリー症例を含む)	
QOL を考慮にいれた総合的な管理計画 (リハビリテーション、社会復帰、在宅医療、介護を含む) へ参画する	

高齢者の医療	一般目標 (GIO)
	高齢者の医療を理解し、修得する
	到達目標 (SBO)
	高齢者特有の病態生理、心理を把握し、適切な対応ができる
家庭環境、家族関係を考慮し療養型病院、老人ホーム、家庭の介護等の治療環境に配慮できる	

救急医療	一般目標 (GIO)
	生命や機能的予後に係わる、緊急を要する病態や疾病、外傷に対して適切な対応をする
	到達目標 (SBO)
	バイタルサインの把握ができる 重症度および緊急度の把握ができる 専門医への適切なコンサルテーションができる

終末期医療	一般目標 (GIO)
	緩和・終末期医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応する
	到達目標 (SBO)
	心理社会的側面への配慮ができる 緩和ケア (WHO 方式がん疼痛治療法を含む) に参加できる 告知をめぐる諸問題への配慮ができる 死生観・宗教観などへの配慮ができる

経験が望まれる症状

—特に経験が望まれる症状—	
全身倦怠感	嘔声
<u>不眠</u>	<u>胸痛</u>
食欲不振	<u>動悸</u>
体重減少、体重増加	<u>呼吸困難</u>
<u>浮腫</u>	<u>咳・痰</u>
<u>リンパ節腫脹</u>	<u>嘔気・嘔吐</u>
<u>発疹</u>	胸やけ
黄疸	嚥下困難
<u>発熱</u>	<u>腹痛</u>
<u>頭痛</u>	<u>便通異常 (下痢、便秘)</u>
<u>めまい</u>	<u>腰痛</u>
失神	関節痛
けいれん発作	<u>四肢のしびれ</u>
心肺停止	<u>血尿</u>
ショック	意識障害

— 経験が望まれる症状 —	
<u>結膜の充血</u> 歩行障害	<u>排尿障害</u> 尿量異常

— 緊急を要する症状・病態 —	
<u>心肺停止</u> <u>ショック</u> <u>意識障害</u> <u>脳血管障害</u> 急性呼吸不全 <u>急性心不全</u> <u>急性冠症候群</u>	<u>急性腹症</u> <u>急性消化管出血</u> 急性腎不全 急性感染症 <u>急性中毒</u> 誤飲、誤嚥

経験が求められる疾患・病態

(1) 血液・造血器・リンパ網内系疾患

(B) ①貧血（鉄欠乏貧血、二次性貧血） ②白血病 ③悪性リンパ腫 ④出血傾向・紫斑病（播種性血管内凝固症候群：DIC）

(2) 神経系疾患

(A) ①脳・脊髄血管障害（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血） ②認知症性疾患 ③脳・脊髄外傷（頭部外傷、急性硬膜外・硬膜下血腫） ④変性疾患（パーキンソン病） ⑤脳炎・髄膜炎

(3) 皮膚系疾患

(B) ①湿疹・皮膚炎群（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎） ②蕁麻疹 ③薬疹 ④皮膚感染症

(4) 循環器系疾患

- (A) ①心不全
- (B) ②狭心症、心筋梗塞
 - ③心筋症
- (B) ④不整脈（主要な頻脈性、徐脈性不整脈）
 - ⑤弁膜症（僧帽弁膜症、大動脈弁膜症）
- (B) ⑥動脈疾患（動脈硬化症、大動脈瘤）
 - ⑦静脈・リンパ管疾患（深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫）
- (A) ⑧高血圧症（本態性、二次性高血圧症）

(5) 呼吸器系疾患

- (B) ①呼吸不全
- (A) ②呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）
- (B) ③閉塞性・拘束性肺疾患（気管支喘息、気管支拡張症）
 - ④肺循環障害（肺塞栓・肺梗塞）
 - ⑤異常呼吸（過換気症候群）
 - ⑥胸膜、縦隔、横隔膜疾患（自然気胸、胸膜炎）
 - ⑦肺癌

(6) 消化器系疾患

- (A) ①食道・胃・十二指腸疾患（食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎）
- (B) ②小腸・大腸疾患（イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻）
 - ③胆嚢・胆管疾患（胆石、胆嚢炎、胆管炎）
- (B) ④肝疾患（ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害）
 - ⑤膵臓疾患（急性・慢性膵炎）
- (B) ⑥横隔膜・腹壁・腹膜（腹膜炎、急性腹症、ヘルニア）

(7) 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）疾患

- (A) ①腎不全（急性・慢性腎不全、透析）
 - ②原発性糸球体疾患（急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群）
 - ③全身性疾患による腎障害（糖尿病性腎症）
- (B) ④泌尿器科的腎・尿路疾患（尿路結石、尿路感染症）

(8) 内分泌・栄養・代謝系疾患

- ①視床下部・下垂体疾患（下垂体機能障害）
- ②甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症）
- ③副腎不全
- (A) ④糖代謝異常（糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖）
- (B) ⑤高脂血症
- ⑥蛋白および核酸代謝異常（高尿酸血症）

(9) 眼・視覚系疾患

- (B) ①屈折異常（近視、遠視、乱視）
- (B) ②角結膜炎
- (B) ③白内障
- (B) ④緑内障
- ⑤糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化

(10) 耳鼻・咽喉・口腔系疾患

- (B) ①中耳炎
 - ②急性・慢性副鼻腔炎
- (B) ③アレルギー性鼻炎
 - ④扁桃の急性・慢性炎症性疾患
- ⑤外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物

(11) 感染症

- (B) ①ウイルス感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎）
- (B) ②細菌感染症（ブドウ球菌、MRSA、A群レンサ球菌、クラミジア）
- (B) ③結核
 - ④真菌感染症（カンジダ症）
 - ⑤性感染症
 - ⑥寄生虫疾患

(12) 免疫・アレルギー疾患

- ①全身性エリテマトーデスとその合併症
- (B) ②慢性関節リウマチ
- (B) ③アレルギー疾患

(13) 物理・化学的因子による疾患

- ①中毒（アルコール、薬物）
- ②アナフィラキシー
- ③環境要因による疾患（熱中症、寒冷による障害）
- (B) ④熱傷

(14) 加齢と老化

- (B) ①高齢者の栄養摂取障害
- (B) ②老年症候群（誤嚥、転倒、失禁、褥瘡）